

だい がくねん おんがくか
第6学年 音楽科

まつさかしりつだいよんしょうがっこう
松阪市立第四小学校



がくしゅうもくひょう
【学習目標】

- 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。
- 音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
- 主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

がくしゅう すす
【学習を進めるにあたって】

しょうきょうざい 使用教材	
きょうかしょ 教科書	しょうがくせい おんがく 「小学生の音楽6」 (きょういっけいじゆつしゃ 教育芸術社)

も もの 持ち物			
きょうかしょ 教科書	ファイル	ひっきようぐ 筆記用具	したじ 下敷き
けんぱん 鍵盤ハーモニカ	リコーダー	タブレット	

がくしゅう やくそく
【学習の約束】

- 積極的に発表して、考えを伝え合いましょう。
- 楽器を大切に使いましょう。
- よい姿勢で歌いましょう。
- 音楽を楽しみながら聴きましょう
- 学習の用意をわすれないようにしましょう。
- 次の学習の準備をしてから休みましょう。
- チャイムと同時に、授業を始められるようにしましょう。
- 呼ばれたら、大きな声ではっきりと返事をしましょう。
- 席をはなれる時は、いすを入れましょう。

【学習内容】

ぜん 期 前	こう 期 後
<p>1. 歌声をひびかせて心をつなげよう</p> <p>2. いろいろな音のひびきを味わおう</p> <p>3. 和音のひびきや音の重なりを感じ取ろう</p> <p>4. 曲想の変化を楽しもう</p>	<p>5. 詩と音楽との関わりを味わおう</p> <p>6. 日本や世界の音楽に親しもう</p> <p>7. 音楽で思いを伝えよう</p> <p>※子どもたちの様子や社会情勢、他の行事との関係で学習する順序を変える場合があります。</p>

【評価の観点および場面・方法】

ひょうか かんてん 評価の観点		ひょうか ばめん ほうほう 評価の場面・方法
<p>知識・技能</p>	<p>曲想をとらえて歌う。</p> <p>正しい演奏法を身につける。</p>	<p>授業の様子 歌のテスト 楽器のテスト</p>
<p>断・思考・表現</p>	<p>豊かな発想をし、演奏の仕方を工夫する。音楽を聴いて、そのよさを美しさを味わう。</p>	<p>授業の様子 発言・発表 鑑賞</p>
<p>主体的に取り組む態度</p>	<p>主体的に音楽の学習に取り組む。</p>	<p>授業の様子 発言・発表 ふり返り</p>